

いわて平泉米だより

令和8年2月号

JAでのGAPの取り組みが注目されています

雫石町農業委員会が令和7年12月22日、JA米集出荷センター輝を視察しました。JAブランド米部会のアジア版農業生産工程管理（ASIAGAP）の団体認証の取り組みについて、始めた経過やその効果、今後の戦略などを説明しました。また、倉庫施設内の見学を行い、倉庫に入る米の量や機械の機能などを説明しました。



GAPについて質問する農業委員会関係者



GAPの取り組みについて説明するJA職員

JAいわて平泉では、GAPを通じて持続可能な農業の推進や、安全・安心で信頼される産地形成を目標に「いわて平泉米」の供給に取り組んでまいります。